

投資事業評価調書(新規)

課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 足立 真清 (丸岡 剛)	内線	4 4 7 4 (4 4 8 0)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	------------------------

事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	約 8 3 億円 (うち用地補償 費 5 8 億円)
		都市計画道路 船場川線(博労工区) (主要地方道姫路港線)	姫路市 高尾町～博労町		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市高尾町～博労町				H 1 7 年度	H 2 2 年度
事業目的			事業内容		
渋滞交差点の解消 ・兵庫県渋滞交差点解消プログラムに位置づけられている国道2号との白鷺橋交差点の慢性的な渋滞解消を図る。 緊急輸送路の早期整備 ・広域防災拠点である手柄山公園へのアクセス機能の向上を図り、都市の防災機能を高める。 歩行者の安全確保・バリアフリーの推進 ・歩道の拡幅により、歩行者・自転車の安全性の向上を図るとともに、バリアフリーに対応した歩道整備を行う。			道路改築(拡幅) L = 6 0 2 m 現況: 2車線+2.5m両側歩道 W=6.5 (18.0) 計画: 4車線+4.0m両側自歩道 W=13.0 (30.0) 交通量(台/日) 現況: 24,891 (H11センサス) 30,048 (H15実測) 計画: 31,900 (H32年予測) 混雑度: 1.33 (H11センサス) 歩行者: 322人/12時間 (H15実測) 自転車: 626台/12時間 (H15実測) (負担割合 国0.55、県0.225、市0.225)		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心	・南北の幹線道路であるが、歩道が狭小であるため、人身事故が多発するなど非常に危険である。沿道には小学校もあり、歩道の整備により安全性の向上を図る必要がある。(H15年における事業予定区間の人身事故件数: 1 8 件) ・緊急輸送道路ネットワーク計画に緊急輸送道路として位置づけられており、地域防災計画の広域防災拠点である手柄山公園へのアクセス道路としても早期に整備する必要がある。				
地域の活性化	・国道2号と国道2号バイパス(姫路バイパス)を連絡し、南北の幹線道路機能を強化するとともに、中心市街地の環状道路として、地域の活性化を図る。				
快適性・ゆとり	・当地区は姫路市交通バリアフリーの重点整備地区に指定されており、歩道の段差解消等により高齢者・障害者に配慮した整備を行う。				
その他	・姫路市の街路整備プログラムにより前期(H19年度まで)着手路線に位置づけ、広報誌により公表を行っている。				
(2)有効性・効率性	・費用便益比 B / C = 2 . 1 ・当工区に隣接する延末工区はH17年度、連立工区はH22年度に完成予定であり、連続立体交差事業と合わせて整備することにより姫路中心市街地の交通環境の改善が図れる。				
(3)環境適合性	・周辺は、密集した市街地であり、高木植樹や、歩道部は透水性舗装、車道部は排水性舗装を実施することにより沿道環境の保全に努める。 ・電線共同溝の整備により都市景観の向上を図る。				
(4)優先性	・渋滞交差点解消プログラムに位置づけられている白鷺橋交差点を含む本路線の抜本的な渋滞解消を図るため、当該工区の4車線化が必要不可欠であるため、早期に事業着手する必要がある。 ・当該区間では、人身事故が多発するなど非常に危険であるため、早急に整備する必要がある。 ・隣接する連立工区はH22年度に完成予定であるが、H17年度末高架切替を予定しており、整備が進捗している。引き続き整備効果を高める必要性から早期に着手する必要がある。				